

# 飯南

いinan

## 議会報

- 02 可決された主な議案
- 03 平成25年度 一般会計予算  
議会全員協議会の議題
- 04 一般質問に5人が登壇
- 09 討論  
採決の結果
- 10 研修報告
- 12 常任委員会報告  
議会活動報告  
陳情
- 14 明日を拓く

第33号  
平成25年4月19日





# 3月定例会終わる

3月4日から3月18日までの15日間の日程で開きました。

平成25年第3回飯南町議会定例会は3月4日から3月18日の15日間の日程で開催した。

平成25年3月30日には中国横断自動車道松江道路の吉田・掛合ICから三次東ICまでが開通し、中国道から出雲・松江まで自動車専用道路で行くことが可能になる。

飯南町の歴史上、初めて陰陽を結ぶ主要路線の通る町でなくなり、大きな変化を経験することになるであろう本年に、町民の生活や地域経済を守るために、新たな条例が制定され、予算が編成された。

主な条例は、バス路線廃止による影響を止めるため、町営バス路線の開設と医療従事者に対する奨学金制度を拡充し、医療と福祉の充実を図る。

予算は、尾道松江線開通に向けた振興策や住みよい地域づくりなどで地盤沈下に対抗する。議会はさらに抜本的対策を求めた。

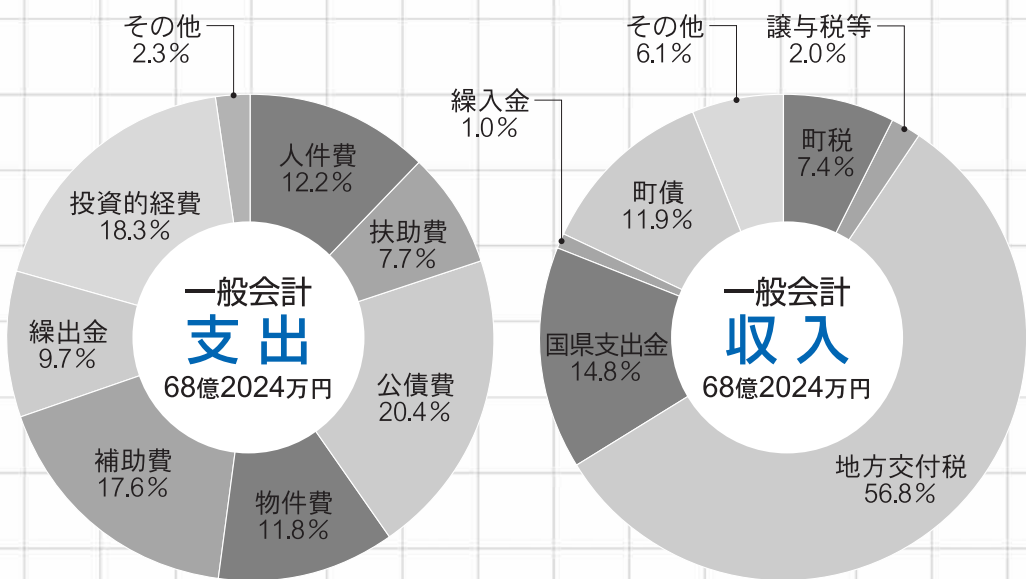
農業振興に有機農業普及のための予算が計上され、所得向上策と強い農業作りに取り組む。議会は予算の積み増しを求め、普及に全力で当るよう促した。

かつて米子道が開通し、阪神、岡山、香川方面の通過人口を失い、浜田道が開通し、九州、山口方面の通過人口を失った。この経験をもとに十分な対策をとっておく必要があったが、いまだ不十分だ。早急に町民一丸となって対策に取り組まなければ地域を守ることができない。

## 【平成25年度 一般会計予算】

一般会計・特別会計・病院事業会計の総額は **97億 142万円**

各 会 計		予算総額
一般会計		68億2024万円
特別会計	国民健康保険事業	7億1276万円
	後期高齢者医療事業	1億7527万円
	介護保険サービス事業	3382万円
	簡易水道事業	3億 636万円
	下水道事業	4億2330万円
病院事業会計		12億2967万円



### 議会全員協議会の議題

- 2月8日
  - ① サプロ島根債権放棄 (弁護士による経過説明)
  - ② 公の施設の指定管理者の指定
  - ③ 中期財政計画(平成24～33年度)
  - ④ 町道管理に伴う損害賠償事件
- 2月26日
  - ① サプロ島根債権放棄 (弁護士による経過説明)
  - ② フロンティアあかぎ経営状況 (被災者生活再建支援事業)
- 3月15日
  - ① 来島ダム水利権更新申請
  - ② CATV自主放送ハイビジョン化
  - ③ 飯南町の情報化を推進する検討会議報告
  - ④ 出雲エネルギーセンターの耐用年数経過後の可燃物ごみ処理

### 「可決された主な議案」

- 条例関係
  - 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定など27件
- 補正予算
  - 平成24年度飯南町一般会計補正予算(第8号)など7件
- 予算
  - 平成25年度飯南町一般会計予算など7件
- その他
  - 飯南町過疎地域自立促進計画の変更など2件
  - 公の施設(飯南町総合交流ターミナル)の指定管理者の指定など9件
- 同意
  - 副町長の選任



# 一般質問

3月定例会



永井 章 議員

## Q アンテナショップ 三次市へ出店の 目論見は

三次市内へのアンテナショップ開設が検討されているが、現況と今後の方針を問う。  
① 広島市内での計画が三次市内へと変更になった。検討状況は。  
② 三次市内でのアンテナショップ開設のメリット、工事に関する条件や日程等は。  
③ 運営、体制、農産品の集出荷方法、指導体制等は。

## A 西日本全域へ発信

町長 山崎 英樹

アンテナショップ開設計画は、総合振興計画に位置づけられている。目的は、  
・ 特産品の販売促進  
・ 情報発信  
・ 消費者ニーズの把握  
等であり、現在三次市内で設置検討中だ。備北地域は本町と交流は古くからあり有利と考える。  
特産品、農産品、観光資源などの情報を、三次から中四国、近畿、九州方面へ広域的に発信したい。

## A 10月頃の オープンで

産業振興課課長補佐 大谷 哲也

① ショッピングモールの一面を使用するので集客力が高い。  
② 建物に投資がなく、経費節減となる。  
③ 中国自動車道三次インター及び中国横断自動車道三次東インターよりアクセスが良い。周辺が住宅地として広がりつつあり、商圏としての将来性があると判断した。  
アンテナショップはテナントとして入り、空調・配管工事、内装工事など初期費用に5500万円程度を見込んでいる。契約期間は10年間。賃料は売上の10%としているが、基本賃金は24万円程度と考えている。  
運営方法は民間で検討中であり、企業組合を立ち上げ、農産品はJ.A雲南と連携をとり、農家の皆さんの出荷しやすい体制をとりたい。  
予算の提案は、6月定例会に行い、10月頃のオープンを目指す。

## Q 町有財産の 処分は

① 町有地を貸し付けている例もあるが、希望者に売却の考えは。  
② 施設が老朽化し、危険と感ずる場所もある。処理する考えは。  
③ 山林、雑種地が町内に点在するが、払い下げの考えは。

## A 前向きに 対応する

町長 山崎 英樹

① 土地については、県の公示価格など参考に、適正に対応したい。  
② 町有建物については、処分したいところだが、解体経費がかかるため今日に至っていない。今後計画的に解体を考える。  
③ 山林等については、小規模なものは希望者に払い下げも考えたい。

# 一般質問

3月定例会



伊藤 好晴 議員

## Q 生活保護基準 引き下げるな

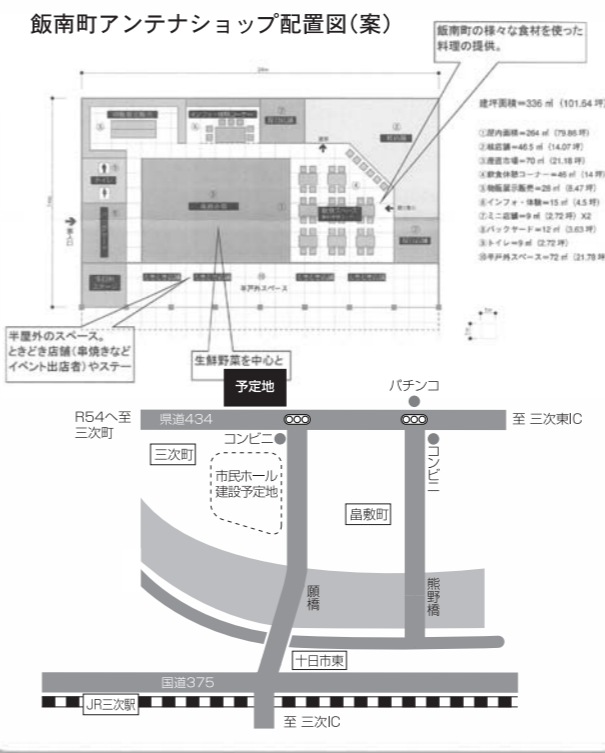
生活保護基準は、さまざまな制度の指針になっている。引き下げにより国民の最低限の生活を守る砦としての役割が失われ、際限なく生活水準を引き下げる負のスパイラルに陥る。

この問題は、生活保護受給世帯だけでなく、ポータラインにある低所得世帯を直撃し、混乱をもたらすと考えるので、国に中止を求めるべきだ。また、現状の把握や、引き下げによる影響を調査すべきだ。

## A 国の対策を注視

町長 山崎 英樹

生活保護基準は、5年に一度見直すことされ、生活扶助基準と一般低所得者世帯の実態検証と物価下落も勘案し、適正化を図ろうとしている。政府は、生活保護受給者を含む生活困窮者対策として、困窮の連鎖の防止や就労支援に取り組みとしているので、注視していく。  
また、町民の生活にどのような影響があるのか調査し、対応を考える。



飯南病院

## Q 中学卒業まで 医療費無料化を

町長 山崎 英樹

現在本町では、通院1000円、入院20000円の一部負担が導入されている。あといくらか財政負担をすれば完全無料化できるか。

また、本町の未来を背負う子供達のために投資するという観点から、今一度完全無料化を求める。それと共に、子供の命や健康を守ろうとする町民の思いを醸成するには、町がイニシアチブを発揮して啓発に努めるべきだ。

## A 検討に猶予を

町長 山崎 英樹

完全無料化のためには、医療費の推計から、増加分は300万円程度必要になる。この制度の一部負担は、子育ての観点から親の責任として負担していただくのが、これまでの私の考え方だ。  
今回の選挙にあたり、子供を増やすという目標を掲げている。各課が横断的に施策をすすめる。町全体で子育て支援、子供たちが健やかに育つ環境づくりに努めていく。

## Q TPP反対の 表明を

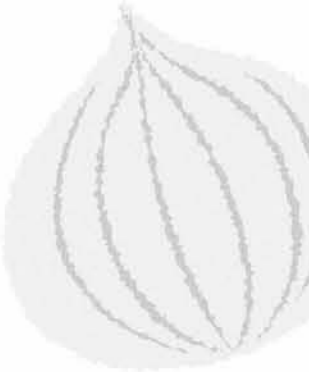
町長 山崎 英樹

TPP交渉参加は、国民無視の暴走と考えている。断固とした抗議を政府に伝える必要があると考えるがどうか。

## A 全国町村会と 連携

町長 山崎 英樹

新政権誕生を受け、全国町村会として1月10日に、政府・自民党に3回目の反対決議をしていることを伝えている。  
町長として、格別に行動を起こす考えはないが、全国町村会と連携して、今後の対応を協議していく。



TPPで米はどうなる



# 一般質問

3月定例会



門 眞一郎 議員

## Q 本町農業 どこへ導く

町長は平成25年度施政方針の中で、第1に「地域を支える産業を創出するまち」づくりを掲げ、農林業の振興について推進方策を検討するとしている。

安倍総理がTPP交渉に参加表明している今、どのような変化にも影響を受けない強い農業づくりを行うことが急務だ。

「生命地域飯南町」森林セラピーのまち飯南町は、本町の農業のあり方を考える上で極めて重要な要素だ。本町の姿にふさわしい農業とはいかなる農業であるか、町民に對



作付けが始まったハウス

し、町長は強力なメッセージを発して推進すべきだ。

スケールメリットにより、これまで市場を獲得してきた産地は、TPPによる価格破壊で海外産地にその地位を奪われることが予想されている。対抗策は、付加価値の高い農産物の生産以外にない。生産規模の小さいことは、手法によっては大変な強みになる。

私は、有機農法や自然農法に、本町が取り組んでいくべきだと考えている。

町長は本町の農業をどこへ導こうとしているのか問う。



## A 先頭に立って 地域循環型農業 を進める

町長 山崎英樹  
生命地域 森林セラピーは、本町農業のあり方を考える上で極めて重要な要素であるという指摘があったが、私もそう思っている。

総合振興計画に、農林業活性化の施策として、環境、地域資源をキーワードに飯南ブランドの確立を図り、循環型農業の普及として、エコ農業の推進、エコ米の生産振興を行っている。

また、重点プロジェクトの一つ、里山産業創造プロジェクトでは、有機農業の推進を掲げ、講演会、研修会や実証栽培などを行う。そして、農業生産のみならず、生命地域、森林セラピーなど、飯南町丸ごと生命地域を実感させるまちづくりを行っていく。

以上のことから、エコロジ―米の生産振興、有機農業の推進、森林セラピー、また株式会社エリーゼの加工玄米をはじめとする町内各企業、事業所との連携による産業振興にスピードを上げて取り組み、先頭に立って旗を振る考えだ。



土壌分析の研修

# 一般質問

3月定例会



家田 敦彦 議員

## Q 協働のまざり合いの 基本は

「生命地域」は、自然環境だけでなく人間社会の多様性を進めることと捉え、協働のまざり合いの「試金石」であると考えている。

① 今後、管理職や各委員、自治区長等、女性の活躍の場を増やす考えはないか。

② 若者の発想や意見、能力を積極的に町まざり合いに生かしていくことが必要だ。新庁舎建設に際しても、全国の大学に呼びかけ、コンペによる採用を行うてはどうか。

③ 地域おこし協力隊員が始めた移動図書館は、本の貸し出しというより、地元の方々の本との触れ合いができた証だ。U・I・ターナーが顔の見えるような活動を取り入れてはどうか。



## A 女性や若者を 活かす施策推進で

町長 山崎英樹

① 本町の男女共同参画の達成率は未だ40%。女性の活動の場が広がるように努力する。

② 若者の意見を聞く機会が少なかったが、今後機会を設けて若者の活用を目指す。新庁舎コンペもユニークなアイデアで参考にする。

③ 協力隊員は他にも地域カフェ等、住民との触れ合いを大切にしている。今後、吉岡長太郎氏のDVDを車載する等、顔の見える活動を推進する。



協力隊員による移動図書館

## Q 美しい佇まいで 高校活性化を

飯南の子供たちは、やはり佇まいが違う。佇まいの美しい「人」の育成は不可欠だ。

① 県内中学生の奪い合いではなく、県外生徒の募集を目指すべきだ。伊丹からの夏休み体験は素晴らしいが、お盆明けにしてはどうか。

② 東大が4月から9月へ入学時期をずらすギャンプタームを導入する。この期間に彼らを誘致し、森の中で生命地域を実践させてはどうか。

③ 卒業生の多くから学習支援館に対する高い評価があった。反面、寮生からは、参加しにくいとの指摘もあった。今後の対応は。

## A 推進協議会 で検討

町長 山崎英樹

外の眼の指摘どおり、子供たちが生命地域に相応しい佇まいを保った町にしていく。

① 高校のオープンキャンパス等で時期変更は難しい。

② 専門家の意見を聞きながら対応する。

議員の提案は、今後キラリ！ドリームアップ推進協議会の中で一緒に考えていきたい。

③ 学習支援館最初の高3が卒業し、今まさに結果がでる時期だ。保護者の送迎や様々な方々に支えられた。寮生の対応にも新年度から対策を講じる。

※ギャンプターム  
海外で主流の秋入学に日本の大学が移行した場合に生じる「高校卒業から大学入学までの半年の空白期間のこと」。



飯南高校



# 一般質問

3月定例会



安部 誠也 議員

## Q アベノミクスに何を要望

安倍首相はアベノミクスを提唱し、「財政出動」「金融緩和」「成長戦略」でデフレを脱却し、経済成長率3%を目指すとしている。

東日本大震災からの復興、防災体制の強化を軸に、笹子トンネル事故を教訓に老朽化した道路・トンネルや橋の再築・修復などが対象とされ、大規模災害に備えつつ、公共事業で景気刺激を図るとされる。

なかなか進まぬ赤名・晴雲の両トンネルの改修には絶好の機会だと感じるし、高野インターアクセス道も含め、3本のトンネルを同時に要望しているが、優先順位をつけるべきだ。

町長は災害に強いまちづくりをどう進めていくのか。

## A 公共事業は必要なもの

町長 山崎英樹

アベノミクスには生命財産を守る対策へ予算の重点的な投入を期待している。本年度は老朽化した橋梁、町道の点検を行う。

また、国・県道のトンネルなどの改修は費用対効果により判断され、地方では交通量などから効果が上がらない問題がある。

本町は高野インターアクセス道が悲願であり、トンネルの整備は引き続き国・県に要望する。

順番づけは町としての方向づけを議論したい。



赤名トンネル

## Q 東京農業大学と連携協定を

地方自治体が大学の力を活用し、連携協定を結ぶパターンが増えている。

本町は過疎・高齢化、農林業の停滞、集落機能と公益機能の維持保全が困難な状況にあり、尾道松江線が三次市まで開通し危機的状況だ。これを克服し、活性化するために東京農業大学の力を借りるべきだ。

本町の森林に関心を持っていてる東京農大は、連携するには一番だ。飯南高校の推薦枠の確保など利点があり、期待が膨らむ。

互いのニーズが合致すれば双方に利益になると共に、最終的には成果を地域に還元することができると考えるが。

## A 固有の大学にとどまらず考える

町長 山崎英樹

産官学連携の重要性は感じしており、東京農業大学との連携も頭に置きながら、固有の大学にとどまらず、連携をとるべき時は協定を結び、地域や産業の振興を図りたい。



世田谷の東京農業大学正門

※東京農業大学  
日本で初めて設立された私立の農学校であり、創立者は榎本武揚。創立は明治24年(1891年)。現在は世田谷・厚木、オホツクの3キャンパスに学生総数約1万3000人余りが学び、国内最大規模の農業系総合大学である。

## DEBATE

# 討論

### 飯南町非常勤職員の報酬及び費用弁償支給条例の改正

公民館単位に5人の定住協力を配置するもの。報酬は、年額5万円。定住相談員と定住協力員が連携を図り、地域に密着したきめ細かな定住者へのアフターフォローを行うもの。

#### 反対討論 伊藤 好晴 議員

U・ターナー者などが相談先を見つけてるのは難しい。アフターフォローは大切であり、本事業は重要な意味を持つが、十分な対応をするために、きちんとした報酬を支給すべきだ。

#### 賛成討論 門 眞郎 議員

負担は実際には動かしてみなければわからない。地域、個人によつて、かなりの差が予測される。固定的な報酬を上げるのは妥当で無い、費用弁償で勘案すべきだ。U・ターナー者にきめ細かな対応ができると思うので賛成する。

### 平成25年度飯南町一般会計予算

農業振興経常管理費  
稲作、畜産、園芸のアドバイザーの  
人件費と活動費363万円

## 促進計画では地域文化振興施設

しながら、商工振興費で予算化するとは理解できない。当初の計画通り地域文化の伝承として取りかかるといい。その際、他の文化団体にも使用の道を開くべきだ。

#### 賛成討論 門 眞郎 議員

大注連縄に使っている体育館が道路拡張によつて取り壊される。かなりの数のしめ縄について既に受注を受けているという現状があり、待ったなしの状況だ。産業のもとになる部分が見られるので、これを強化して産業として充実させることは大切だ。

#### 賛成討論 門 眞郎 議員

再生可能エネルギーの活用については、推進を図るべきだが、2キロワットの発電に対し0.11キロワットしかないのは予算の無駄遣いだ。直近の民家の協力で実証実験を行なうか、公の施設で行うべきだ。

#### 賛成討論 門 眞郎 議員

足元を明るくすることで、地域に対してアピールすることも大事である。もし、隣家に協力を仰ぎ、スマートメーターで実際の日量変化をデータ化すれば、有益な事業になる。

#### 大注連縄創作館整備事業

1億3170万円

#### 反対討論 伊藤 好晴 議員

この建物をつくることには反対ではない。飯南町過疎地域自立

### 平成25年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算

国民健康保険料は、昨年に続き引き上げられる予定。

#### 反対討論 伊藤 好晴 議員

長引く不況の中で保険料の引き上げは妥当ではない。一般会計からの繰り入れなどで国民皆保険を守っていくべきだ。

#### 賛成討論 門 眞郎 議員

国民健康保険の給付事務は県で一本化の予定だが、保険料はおおむね県平均程度が妥当であろうとおもわれ、激変を避けるため、また、基金の減少が顕著であるため、値上げはやむを得ない。

全66議案のうち、反対があった議案の採決結果は次のとおりです。  
【3月定例会】

件名	結果	安部朋次	小野覚	難波俊司	瀧尻行雄	伊藤好晴	永井章	長島正一	門眞一郎	安部誠也	熊谷兼樹	家田敦彦
飯南町非常勤職員の報酬及び費用弁償支給条例の改正	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
町長及び副町長の給料の支給額の特例に関する条例の改正	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○
教育長の給料の支給額の特例に関する条例の改正	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の給与の支給額の特例に関する条例の改正	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の管理職手当の特例に関する条例の改正	可決	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成25年度飯南町一般会計予算	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成25年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

### 【第2回臨時会(2月26日開催)】

債権放棄(サプロ島根)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
町長及び副町長の給料の減額に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成議員 ●反対議員



## 教育経済常任委員会

平成25年4月4日 岡山県倉敷市

## NPO法人岡山県木村式 自然栽培実行委員会を視察



高橋啓一理事長の説明

### プロローグ

今回視察した、NPO法人岡山県木村式自然栽培実行委員会は、青森県弘前市の「奇跡のりんご」で知られる木村秋則氏の指導を受け、平成21年から自然栽培に取り組んでいる。

自然栽培とは、肥料も農薬も除草剤も使用せずに米や野菜を栽培する技術のことだ。当委員会は平成24年7月、石川県羽咋市でも木村秋則氏の指導による自然栽培を研修してきたが、今回は隣の岡山県でも取り組んでいるとの情報を得たので視察をした。

このNPOと連携している組織（人）は自然農法を実践している農

家、J A岡山中央会ほか4 J A、全農岡山パルライス、販売・加工業者、消費者で、J Aが全面的にバックアップしていることで流通の円滑化を図っている。J A岡山中央会の堀川会長は、「何百万年もかけてこんなすばらしい地球が作られたのに、ここ100年から200年でこの地球を無茶苦茶に汚している。もともと、食や環境について、こんな豊かな時代だからこそ考えるべきだ」とエールを送っている。

米の買取価格はNPO法人が定めるが、今年は1俵24000円にしたいと考えている。

J Aも農家所得確保対策として取り組みに積極的で、自然栽培日



青空のもとでも熱心な説明会

桃を笠岡市で作りはじめて2年になる。この桃は市場で2kgが12000円で取引されている。小売価格は1個当たり4000円になるが、市場はもともと高く売れると言っている。このように付加価値がどんどん上がっている。J Aにとってもチャンスだと思っている。

従来の米の価格は色、形、重量で決まっていたが、消費者が求めているのは安心安全と味だ。

J Aの買い取り基準には安全安心や食味は入っていないので、いくら良いもの、消費者が求めているものを作っても価格に反映されることが無い。

流通の考え方  
もうすぐ木村秋則氏をモデルにした映画「奇跡のりんご」が全国300の映画館で上映される、これを契機に自然農法による農産物がブレイクすると思う。

当地以外で、全国には県、市レベルで自然農法に取り組んでいるのは石川県羽咋市と滋賀県米原市だが、自然農法の米は作付けまでに売っておかなければだめだと考えている。市場に出しては意味が無い、生産に見合う消費者を確保した上で作付けに取り掛かるべきだ。

自然栽培は徐々に取り組んだのでは成功しない。たとえば少しづ

つ肥料や農薬を減らしていつても収量が減るだけだが、全部やめたとたん収量が確保できるようになる。自然栽培では今までの常識は通用しない。

江戸時代には金を払わなければ品物は渡さなかったが、いつの頃からか商品を渡してから金をもらうようになった。そもそもこれが商品の価値を下げる元になっている。本当にいいものは先にお金をもらえ、いいものさえ作っておけば消費者は求めにやってくるものだ。

流通は市場原理に任せると、豊作になれば農家の手取りが減り、少なくて取れば消費者が困る。市



理事長宅でも続く説明会

### J Aとのつながり

農業は契約栽培で、かつ自然栽培を目指すなら、肥料を使わないことにより資源の枯渇を防ぎ、除草剤を使わないことにより環境を守り、休耕田を復活させることにより経済を発展させることができる。また、無駄に広範囲の流通を企図するとエネルギーや環境に悪影響を及ぼす。

（飯南町のJ Aの若い担当者や現場の職員は農家に利益を上げてほしいと望み、有機農法や自然農法に関心を持っているが、経済連や全農は肥料や農薬で儲けること

に興味があるように感じるが）

孫子の兵法に「最大の敵を味方につけよ」というのが在る。J Aは米1俵あたり10000円の手数料が入る。除草剤は10%の儲けだ。このNPOは、1俵20000円の手数料を保証して全量J Aが扱うようにした。これにより、J Aのような組織を作らずに米の流通ができた。

消費者の会員は県内で300人、大阪で400人くらいあり、入金50000円、年会費50000円だが、米の評判は上々だ。

場は売って喜び、買って喜ぶとはならないものだ。需要が伸びている間はそれでも何とかなってきたが、消費の減少で市場経済が成り立たなくなった。お互いに良い方法を考えれば、農業の場合は契約生産しか考えられない。だから消費者と生産者と結びつける人の3者が必要になる。その間にJ Aとユーザーが入るというシステムに変わっていく必要があると考えている。

今の米の流通は低価格の米にのみ残されていくと考えている。これからは二極化していくに違いない。

たとえば、最初、50人の消費者を集め、50俵の米が必要として、作付けに取り掛かる。これを繰り返して

ながら拡大していくことが私の仕事だと思っている。消費者には1年間この米を食べ続けてもらうことが必要だ。そのためには生産者の顔の見える関係を作らなければならない。

### 将来の夢

消費者の会員を募っているが、特典があるわけではない、日本の将来のために投資をするつもりで、会員になってほしいと言っている。田んぼの中のレンゲが満開になったら、消費者との交流会を企画する。堀川J A中央会会長は観光バスで消費者がレンゲを見にやってくる様にしたと言っている。木村秋則氏の農園には年間1万人もの観光客が訪れるそうだが、ここも世界から観光客が来る場所にしたいたいと思っている。

### 感想

飯南町では炭素循環農法（自然農法）と小祝農法（有機農法）の研修が行われている。参加者は徐々に増加しているが実践には至っていない。

松江道の開通により国道54号の交通量減少が顕著になってきたが、直売所への影響が心配される。特徴のある農産品づくりに取り組み、攻める農業への転換こそ生き残る手段と確信し、自然農法や有機農法へ早急に取り組むべきと感じた。



交流会が予定されるレンゲ畑





### 教育経済 常任委員会

委員長 門 眞一郎

#### 平成24年度 飯南町一般会計補正予算(第8号)

**定住促進住宅整備事業 2180万円**  
定住住宅建築は、品質の確保が重要だ。

**ふるさとの森経常管理費 251万円**  
経常管理費だが、事業は商品開発などの新規事業で経常的ではない。

また、基金を原資とする、指定管理料の増額となっており、予定より早く基金枯渇の恐れがある。計画的な資金運用を求めた。

#### 審査意見

定住住宅建築は、施工に当って建設課の職員が管理を行い、住宅が25年以上の使用に耐えるだけの品質を確保すべきだ。



定住住宅(4月中旬の菜種雪)

#### 平成25年度 飯南町一般会計予算

**小水力発電設置工事 787万円**  
安定した水量によって、場所の選定がされているが、発電された電気の用途がなく、実証実験としての効果に疑問がある。費用対効果を考えた事業の構築をすべき。

**農業振興経常管理費 363万円**  
稲作、畜産、園芸に関するアドバイザーの人的費と活動費、アドバイザーとして予定されている者がJ Aに所属しており、行政職員との両立ができるか心配がある。

**農業振興臨時管理費 120万円**  
農業後継者を海外研修させるための事業、長期的視野に立ち、継続させることが重要であり、スキル向上に資する研修を選択するよう求めた。

**有機農業推進事業 44万円**  
有機農業に取り組むことは大切なことだが、すでに後発となっている。十分な予算措置と周知を図り普及に努めるべき。

**大注連縄創作館整備事業 1億3170万円**  
伝統文化を発展させてビジネスにつなげるための事業であるが、文化全般と整合性をとることが求められる。過疎計画に沿った事業の構築を行い、用地の選定に当っては将来計画に支障のない位置を検討し、しっかりとした地域文化の伝承をはかることが重要だ。



### 総務厚生 常任委員会

委員長 長島 正一

#### 生活路線バス運行に関する 条例の改正

中国横断自動車道尾道・松江線の吉掛・三次インター間の開通により、出雲・松江から広島間を結ぶ高速バス路線が高速道経由に変更される。それに伴い、本町赤名駅から雲南市吉田町の道の駅「たたらば壺番地」の間に、生活路線バスを運行するための改正である。

運行開始後、利用者の利便性向上のため、利用状況の把握に努めるよう求めた。



松江自動車道

#### 医療従事者確保対策助成金 条例の改正

助成対象を福祉従事者にも拡大するための改正である。

介護福祉士不足も深刻な状況であり適切な改正であるが、現在、独自の助成制度を設けている福祉法人もあり、就職時に問題が発生しないよう慎重な運用を求めた。

#### 平成25年度 飯南町一般会計予算

**CATV事業経常負担金 4854万円**  
一部事務組合のあり方について多くの意見が出された。執行部からは、放送協会のあり方の見直しや専従職員の配置等を検討中との考えが示された。

**保育所業務委託費 1億1644万円**  
保育士の人員確保を図り、保育体制の充実を求めてきた。本年より土曜日の終日保育を始め、保護者の要望に応える。

**病院事業会計補助金 2億5281万円**  
平成24年度では、経営収支が悪化している。25年度では、収支均衡予算は組まれているが、努力目標の数値が積み上げられている観もある。今後、医局との連携を密にし経営改善に取り組むよう求めた。

#### 審査意見

**国道54号活性化事業**  
本年度も「飯南町国道54号活性化アクションプラン」は、従来の事業を引き継いでいるが、成果に疑問がある。民間の力を求め危機感をもって早急に抜本的対策を図りたい。

**飯南町住みよい地域創造事業**  
地域づくりは、その地域住民が主体的に取り組み、創造していくことが基本である。  
事業の趣旨を十分説明し、事業の実効が得られるよう指導・助言に努められたい。

## 議会活動報告 [1月～3月]

- 1 7日 議会広報編集委員会: 一般質問要約作業
- 11日 議会広報編集委員会: 委員会報告、紙面校正作業
- 12日 議会広報編集委員会: 紙面校正作業
- 13日 飯南町消防団出初め式
- 15日 議会広報編集委員会: 紙面校正作業
- 22日 教育経済常任委員会: 中山間地域研究センターとの意見交換
- 25日 総務厚生常任委員会: 介護施設との意見交換

- 2 2日 議会運営委員会: 2月臨時会の提出議案、日程外の協議
- 8日 議会運営委員会: 臨時会の提出議案、日程外の協議  
臨時議会、議会全員協議会
- 18日 教育経済常任委員会
- 22日 雲南広域連合議会2月定例会
- 26日 議会運営委員会: 臨時会の提出議案、日程外の協議  
臨時議会、議会全員協議会

- 3 4日 3月定例議会: 本会議、町長提出議案の説明
- 5日 3月定例議会: 本会議、町長提出議案の説明、質疑

- 3 8日 3月定例議会: 本会議、一般質問
- 11日 : 委員会審査
- 12日 : 委員会審査
- 13日 : 委員会審査
- 14日 : 委員会審査
- 15日 : 委員会審査、議会全員協議会
- 18日 3月定例議会: 本会議、委員長報告、討論、採決
- 27日 雲南市飯南町事務組合議会定例会
- 28日 議会広報編集委員会: 一般質問要約作業

## 陳情

**水稲採種事業に対する要望**  
 [陳情者] 飯南町下赤名328-6  
 飯南町水稲採種組合 組合長 前田 祥宏  
 [審査委員会] 教育経済常任委員会  
 [審査結果] 採択

**「第52回 商工会全国大会」の決議に関する陳情**  
 [陳情者] 東京都千代田区有楽町一丁目7番1号  
 全国商工会連合会 会長 石澤 義文  
 島根県商工会連合会 会長 石飛 善和  
 [審査委員会] 教育経済常任委員会  
 [審査結果] 継続審査



# 明日を拓く



岸本さん「沢山の人に来てほしい。」

谷自治振興協議会で地域おこし協力隊員として働いている岸本佳美さんと岡村虹二さんにインタビューしました。二人からは、地域を動かそうとか、影響をあたえようとかいう気負いが無く、自然体で、地域と親和する能力を持つていると感じました。

## この町の第一印象は

**岸本** 緑がいっぱい、山が多いなーと感じ、面接のとき良くしてもらって安心感がありました。（鳥取にも山はたくさんあるでしょ）



岡村さん「まず地域を学びたい。」

鳥取に居たのは高校まで、この年頃には周りのことに関心が無いですよ、部活のことなんかばかりでした。大学を卒業し、兵庫県で農業を体験して意識するようになりました。協力隊で来ているから、色々なことを知りたいと思うんですが、ここで育っていたら、意識しなかったかもしれない。**岡村** 最初、「わっ山だ」と思いました。面接のとき形式ばったものを予想してきましたが、皆さんとても柔らかかに（やさしい）ってことかな、接してもらいました。すごくやさしさを感じました。出身が横浜で、ビルだらけのところから来たので、とても自然を感じました。関東では自然は公園に行くしかない、ここは全部が公園のようです。窓を開けるとそこに自然があるのは感動です。

## 岸本さんはこの3年間に印象に残ったことは

**岸本** 私は何もできる人間で無いので、ここで何か教えてもらおうと思いましたが、地域に何か残そうと言うことでなく、ここで何か学ぼうと言う気持ちで過ごしてきました。逆に支えてもらって活動できたと思っています。皆さんにチャンスを与えてもらって感謝しています。

## 岡村さんはこれからの3年間どうしたい

**岡村** 今はわからないことだらけで何をすればよいかかわかりません。まず地域を学びたい。それからやるべきことを探したいと思います。

## 地域に望むことは

**岸本** 町外の人に谷笑楽校を知ってもらいたいし、沢山の人に来てもらいたい。大きなことをするのはなく小さなことでもいいからいいところだなと思ってもらえる場所であり続けてほしいです。

季節季節に必ずここに帰ってくる人がいて、そんなとき必ずここに来てもらえる。ここが開いているから来てもらえる、閉まっていたのでは誰も足を運ぼうと思ってくれません。（だからいつまでも開けておいてほしい）  
**岡村** 僕をかわいがってほしいです。

## 今月の表紙写真



この春も町内の小学校から卒業生が巣立っていきました。ここ赤名小学校で行われた卒業証書授与式は、賑やかな中にも凜とした雰囲気の中で粛々と進められ、参列した保護者も、あっという間に過ぎた6年間と、大きく育った我が子が晴れやかな式に臨む姿に感動されていました。今年には志々の4人、頓原・来島・赤名のそれぞれ17人を加え、55人が中学校に進学することになりました。

## 編集後記

秒針のひと刻みはアツという間。まばたきをすれば過ぎる。それでも、肉体を鍛え上げれば一秒間に10メートル強を走ることもできる。たかが一秒、されど一秒▼今から28年前に、美しい詩で始まるCMが、テレビで一度だけ放送された。「一秒の言葉」。4月、新スタートをきる町民の皆様にご贈ります。

- 「一秒の言葉」 小泉吉宏
- 「はじめまして」
- この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じることもある
- 「ありがとう」
- この一秒ほどの短い言葉に 人の優しさを知ることがある
- 「がんばって」
- この一秒ほどの短い言葉で 勇気がよみがえってくることもある
- 「おめでとう」
- この一秒ほどの短い言葉で しあわせにあふれることがある
- 「ごめんささい」
- この一秒ほどの短い言葉に 人の弱さを見ることがある
- 「さようなら」
- この一秒ほどの短い言葉が 一生の別れになる時がある
- 一秒に喜び 一秒に泣く
- 一生懸命 一秒

議会広報編集委員会 家田敦彦